



2025年9月16日

各位

会社名 東洋ドライループ 株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯野 光彦
(スタンダード・コード4976)
問合せ先 取締役管理部長 鈴木 茂生
電話番号 03-3412-5711

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)

当社は、2024年9月13日に公表しました、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を再分析し進捗状況等を更新いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析 (連結)

当社のROE（自己資本当期純利益率）は、2025年度まで株主資本コストを下回る水準（2021-2025年度の過去5年平均は6.07%）であり、PBR（株価純資産倍率）は、同平均0.44倍となっており、いずれも横這いでの推移となっております。

一方で市場評価につきましては、直近5年継続してPBRが1倍を下回っていることから、株価は割安な水準で推移していると認識しております。

経営指標	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
売上高(百万円)	3,598	3,666	3,869	4,699	5,194
経常利益(百万円)	733	741	421	807	976
純利益(百万円)	452	575	332	617	702
ROE(%)	6.02	7.08	3.82	6.68	7.03
期末株価(円)	2,800	2,500	2,292	3,345	3,970
一株当たり純資産額(円)	5,875.97	6,419.22	6,717.28	7,250.94	7,827.22
PBR(倍)	0.48	0.39	0.34	0.46	0.51

資本収益性は高いものの、市場評価が高まらない要因を検討いたしました。

- (1) 長期的な企業価値の共有が不足
 - ・投資家と長期的な企業価値が共有できていない。
- (2) 事業への理解が浸透していない
 - ・先行投資となる設備投資などの長期的取組みが、株式市場において理解が深まっていない。
- (3) 国内外投資家の認知度の低さ

2. 改善に向けた方針と目標

現状分析を踏まえて、当社は以下の方針・目標を掲げて、取組みを強化してまいります。

- (1) 事業成長と収益力の向上
 - ・PBRの改善は経営上の重要課題であるとの認識のもと、ROEの向上を目標とします。
 - ・設備投資、研究開発費、人的資本投資への成長投資を継続します。
- (2) 株主還元の強化
 - ・累進配当を意識した株主還元を実施します。

(3) I R活動の充実

- ・株主、投資家とのコミュニケーション機会を充実させ、積極的な情報発信を行います。

3. 改善に向けた取組み実績

中長期的に持続的成長と企業価値向上を達成するために、以下の基本方針に基づき各種施策を具体化して、必要な戦略的投資を行いました。

(1) 事業成長と収益力の向上

- ・営業開拓により事業成長を促し、生産性を高める設備投資の継続により、利益率の向上へ繋がります。

経営指標	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
設備投資(百万円)	237	535	980	880	952
研究開発費(百万円)	95	101	111	117	114
経常利益率 (%)	20.4	20.2	10.9	17.2	18.8

(2) 株主還元の強化

- ・上場以来続けている安定的かつ累進的な配当を、継続して実施いたします。

経営指標	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
1株当たり配当額(円)	41	45	47	57	96

(3) I R活動の充実

- ・投資家向けの説明会を3月3日と8月27日に開催し、ホームページやログミー Finance を通じて、情報発信を行いました。株主、投資家との対話、面談を年間12回実施しました。
- ・日刊工業新聞の取材を受け、11月29日に「タイ増強、自動化設備」、12月13日に「固定被膜潤滑の領域拡大」と題した当社記事が掲載されました。
- ・スタンダード市場に属する時価総額50億円前後の中小型株である当社は、機関投資家よりも個人投資家の売買が中心になっていると考えております。特に個人投資家に対するPR活動が重要であり、成長の可能性がある魅力的な投資対象として認知してもらえるように、事業内容・企業活動に対する情報発信や非財務情報の情報開示を充実させ、成長性に対する投資家の適切な理解を得られるようにIR活動を一層強化して参ります。

以上